



令和6年度

岡山市立学校園における
働き方改革推進方針
～アンケート集計結果～

目次

1. 目的	1
2. 概要	1
3. 集計結果	3
① 幼稚園	3
② 小学校	7
③ 中学校	12
④ 高等学校	17

1. 目的

教職員の現状を把握することにより、岡山市立学校園における働き方改革推進方針の 4 本の柱に関する取組状況を評価・検証するために実施するもの。

2. 概要

■調査名称:令和6年度 働き方改革アンケート

■調査期間:令和6年7月5日(金)から8月2日(金)まで

■調査対象:岡山市立学校園の教職員

■実施方法:匿名かつ任意調査による調査
幼稚園は、庁内 PC 内のグループウェアを活用
学校は、Chromebook 内の「Google Forms」等を活用

■調査項目:

- 幼稚園
- (1) 職名
 - (2) 1週間の勤務時間
 - (3) 性別
 - (4) 年齢
 - (5) クラス担任を持っている
 - (6) 令和6年4、5、6月の時間外在校等時間(月平均)
 - (7) 日常的に負担感・多忙感が大きい業務
 - (8) 勤務時間外に在校する主な要因(業務)
 - (9) 土日に行くことが多い業務
 - (10) 令和5年4月～令和6年3月の間に年次有給休暇を10日以上取得した
 - (11) 年次有給休暇を取得しない(しにくい)理由
 - (12) 仕事にやりがいを感じているか
 - (13) 他の職員より先に退校することに抵抗を感じるか
 - (14) 自己研鑽※の時間について勤務時間から除くことを理解しているか

- (15) 作成した教材や資料、文書データなどが職員間で共有できるようになっているか
- (16) 夏季閉庁日の 5 日間への試行拡大は、ワークライフバランスを図ることにつながると思うか
- (17) 降園後の職員会議・研修等は、原則、勤務時間内に終了かつ50分以内及び連絡会は週5回未満とし、効率的な運用に努めることは、負担軽減につながっていると思うか

小・中・高等学校 (1) 学校の種類

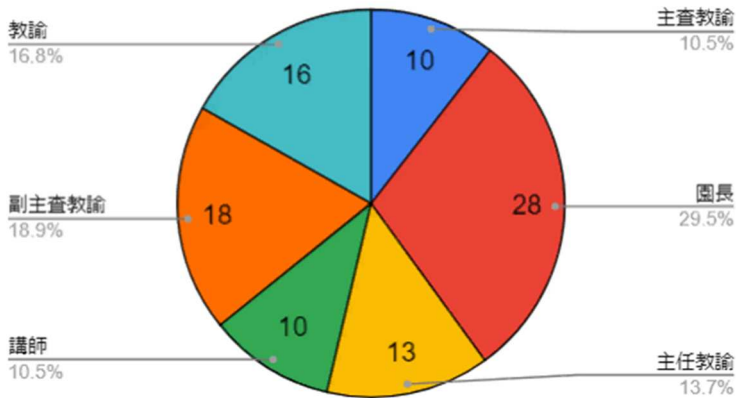
- (2) 職名
- (3) 1 週間の勤務時間
- (4) 性別
- (5) 年齢
- (6) クラス担任を持っている
- (7) 部活動の顧問をしている
- (8) (7)で「①はい」の場合、部活動ガイドラインの改訂により、令和6年4月～6月の部活動の負担軽減につながった（中学校のみ）
- (9) 令和6年4、5、6月の時間外在校等時間(月平均)
- (10) 日常的に負担感・多忙感が大きい業務
- (11) 勤務時間外に在校する主な要因(業務)
- (12) 土日に行くことが多い業務
- (13) 令5年4月～令和6年3月の間に年次有給休暇を10日以上取得した
- (14) 年次有給休暇を取得しない(しにくい)理由
- (15) 仕事にやりがいを感じているか
- (16) 他の職員より先に退校することに抵抗を感じるか
- (17) 打刻システム導入により、勤務時間を意識して働くことができているか
- (18) 自己研鑽※の時間について勤務時間から除くことを理解しているか
- (19) C4th の機能を活用し、会議資料を事前提供しているか
- (20) 作成した教材や資料、文書データなどが職員間で共有できるようになっているか
- (21) 学校業務アシスト職員の拡充は、負担軽減につながると思うか
- (22) LINE による欠席遅刻連絡システムの導入は、負担軽減につながると思うか
- (23) 夏季の学校閉庁日 5 日間への試行拡大は、ワークライフバランスを図ることにつながると思うか

3. 集計結果

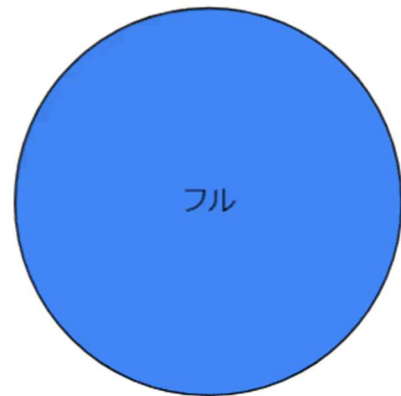
① 幼稚園 回答数 95 人(アンケート対象者 106 人 回答率 90%)

※選択肢の内容は小中学校も共通のため、幼稚園の内容とは異なるものもあります。必要に応じて授業準備一保育準備など読み替えてください。

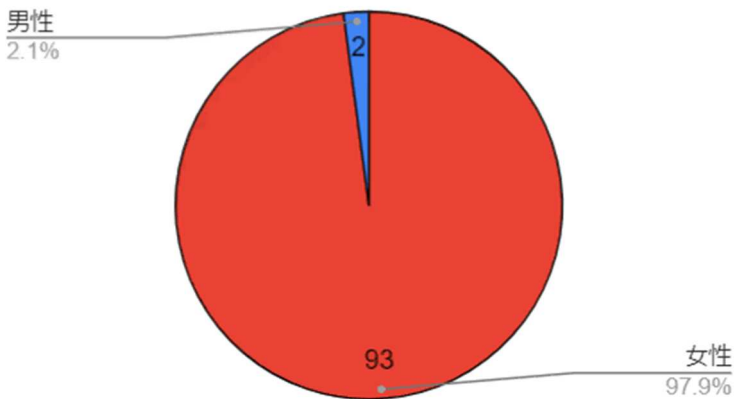
(1) 職名



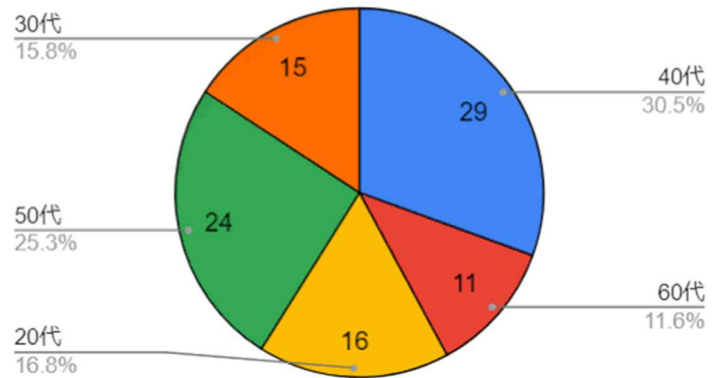
(2) 1 週間の勤務時間



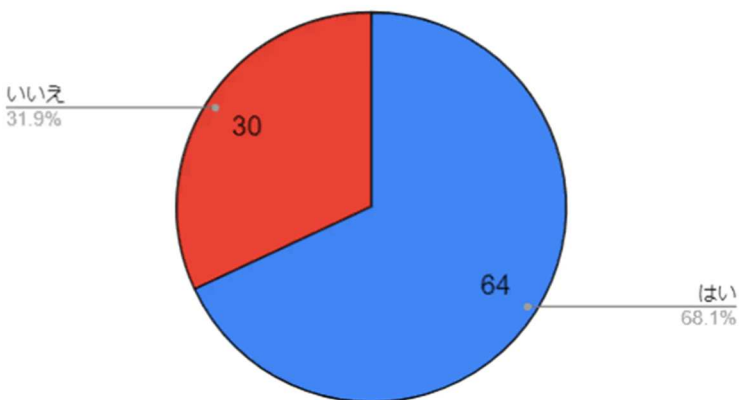
(3) 性別



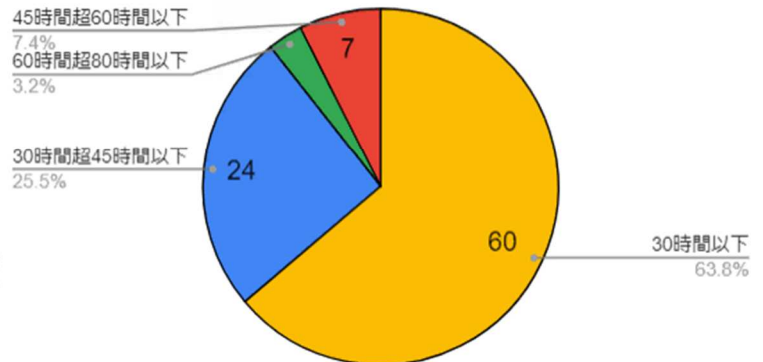
(4) 年齢



(5) クラス担任を持っている



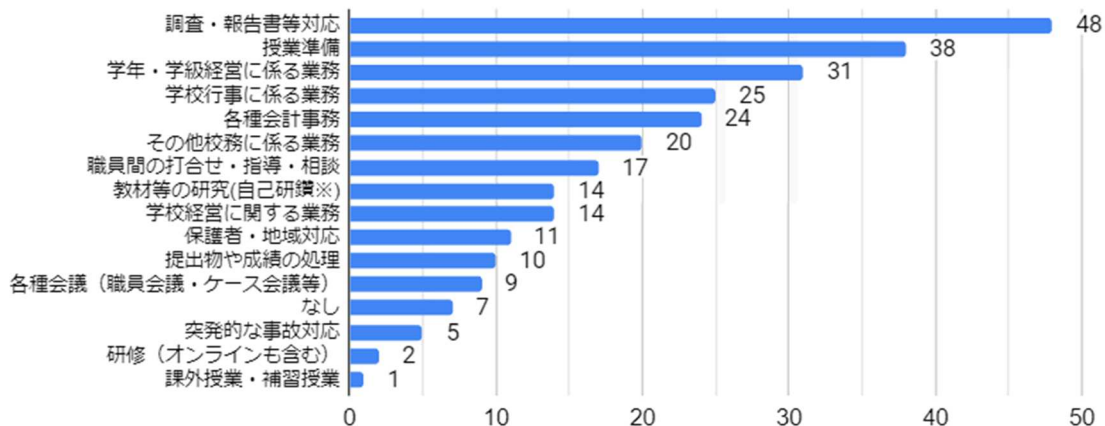
(6) 令和6年4、5、6月の時間外在校等時間 (月平均)



(7) 日常的に負担感・多忙感が大きい業務



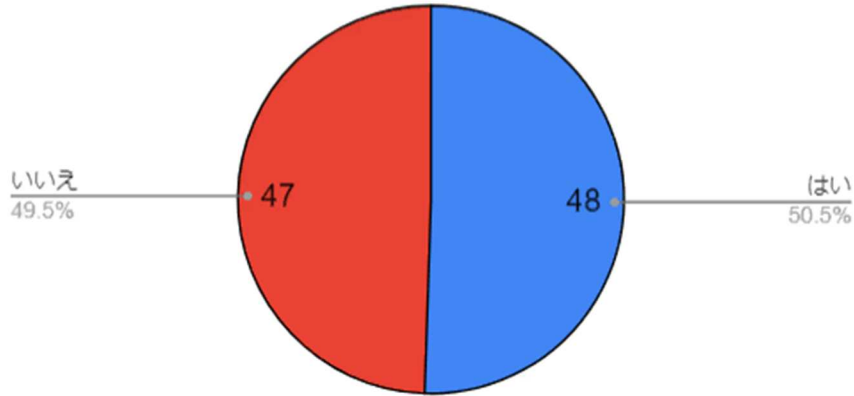
(8) 勤務時間外に在籍する主な要因（業務）



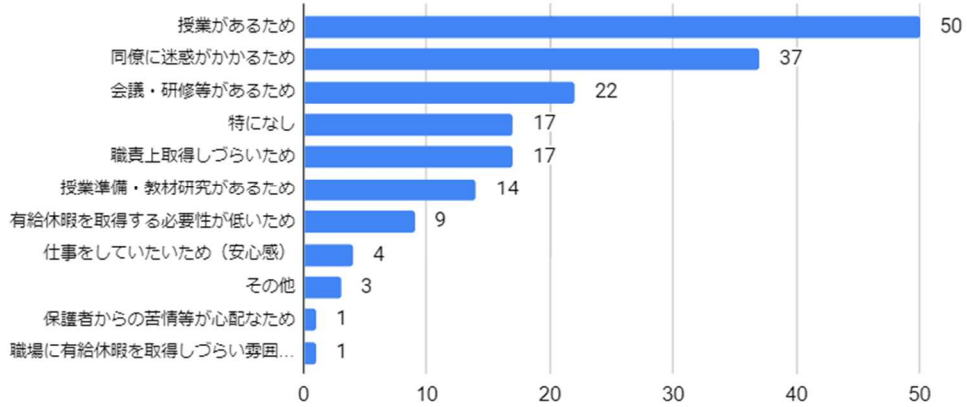
(9) 土日に行うことが多い業務



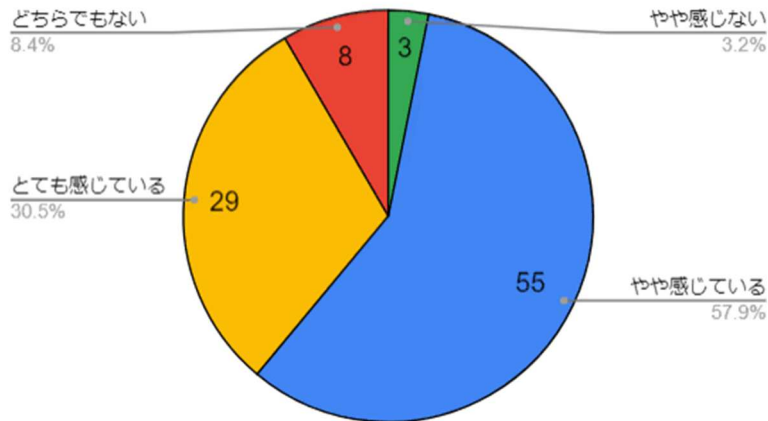
(10) 令和5年4月～令和6年3月の間に年次有給休暇を10日以上取得した



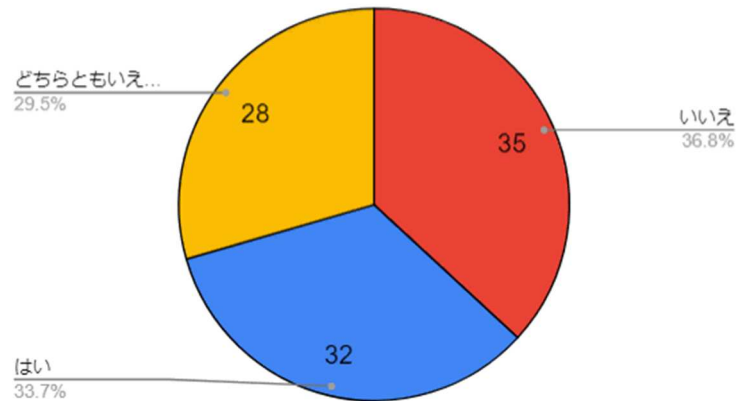
(11) 年次有給休暇を取得しない(しにくい)理由



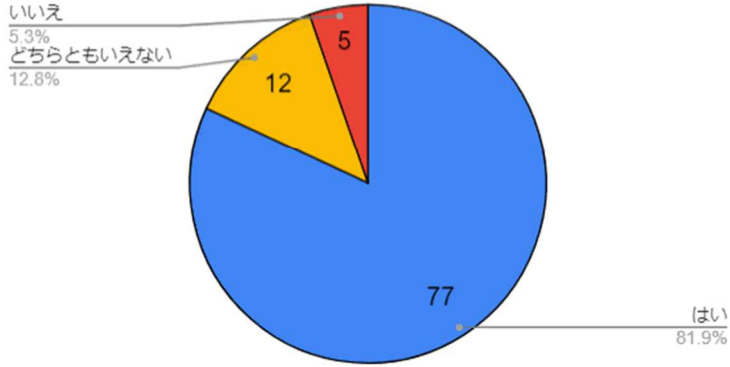
(12) 仕事にやりがいを感じているか



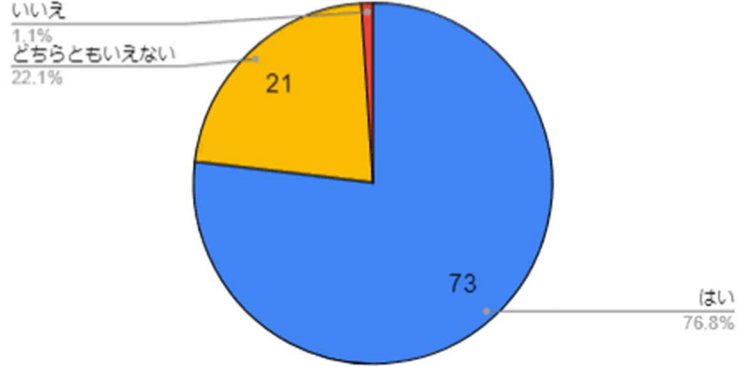
(13) 他の職員より先に退職することに抵抗を感じるか



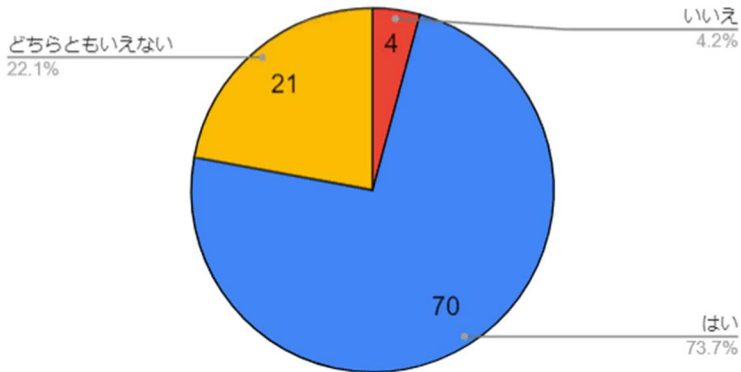
(14) 自己研鑽※の時間について勤務時間から除くことを理解しているか



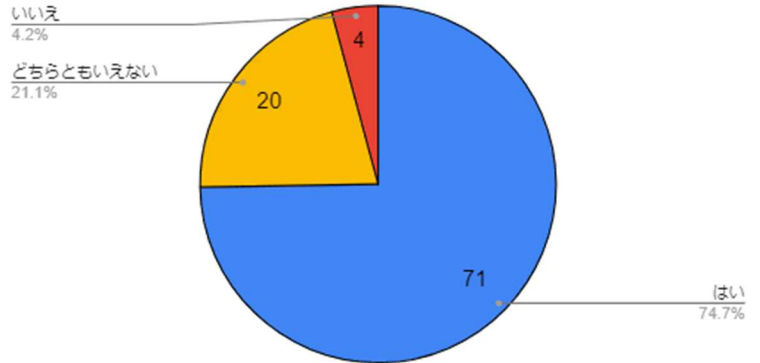
(15) 作成した教材や資料、文書データなどが職員間で共有できているようになっているか



(16) 夏季閉庁日の5日間への試行拡大は、ワークライフバランスを図ることにつながると思うか

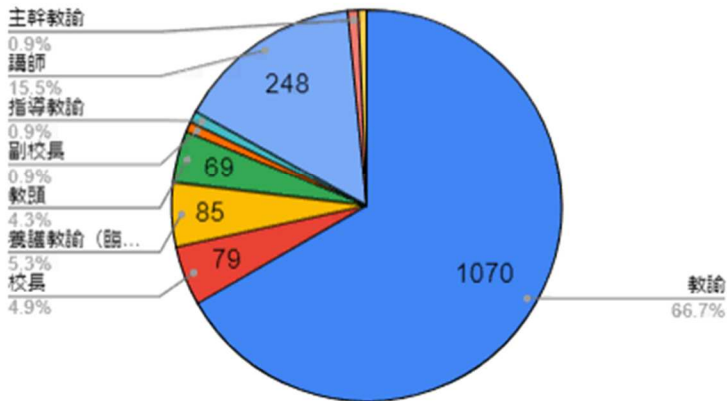


(17) 降園後の職員会議・研修等は、原則、勤務時間内に終了かつ50分以内及び連絡会は週5回未満とし、効率的な運用に努めることは、負担軽減につながっていると思うか

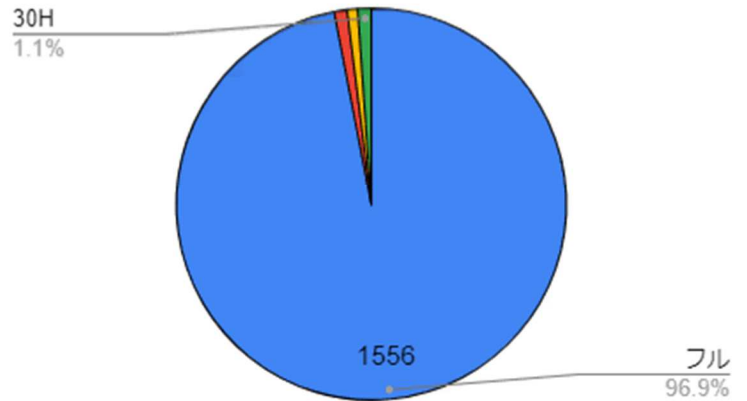


②小学校 回答数 1,605 人(アンケート対象者 2,230 人 回答率 72%)

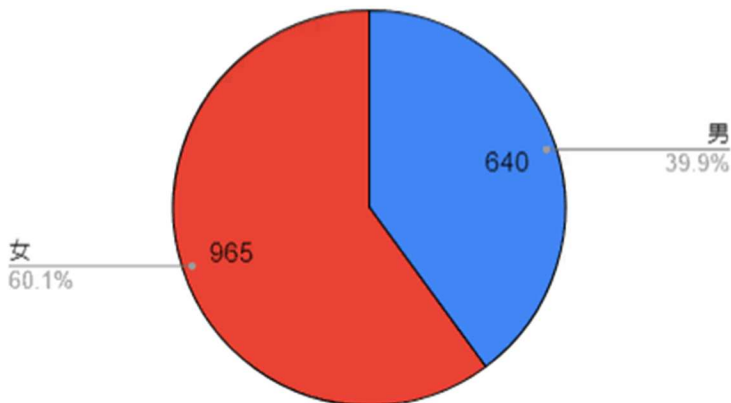
(2) 職名を選んでください。



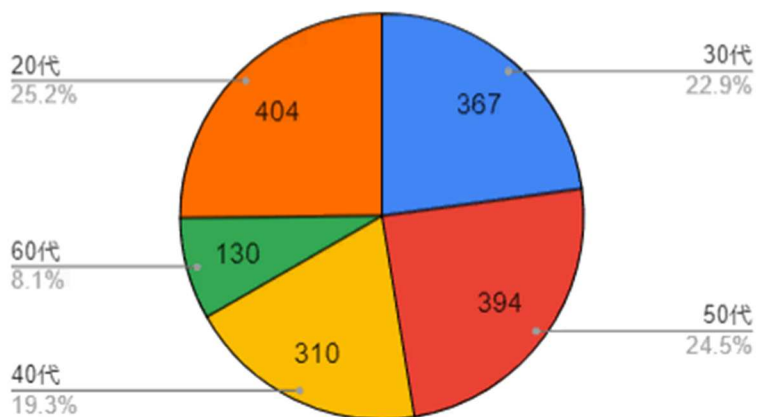
(3) 1週間の勤務時間



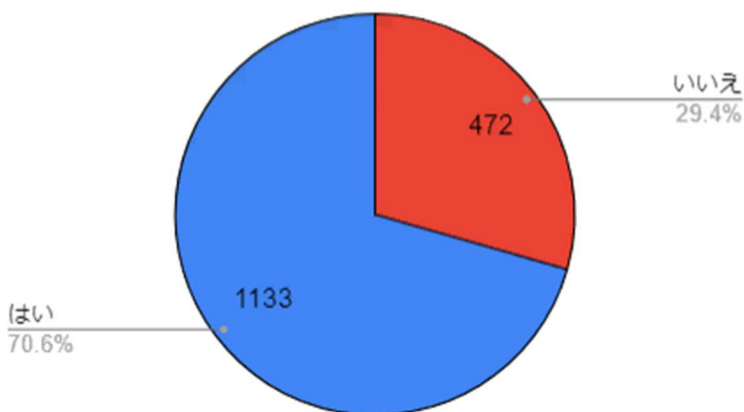
(4) 性別を選んでください。



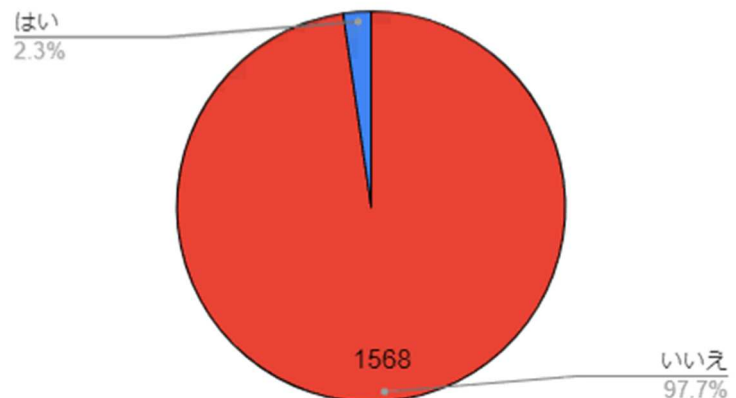
(5) 年齢を選んでください。



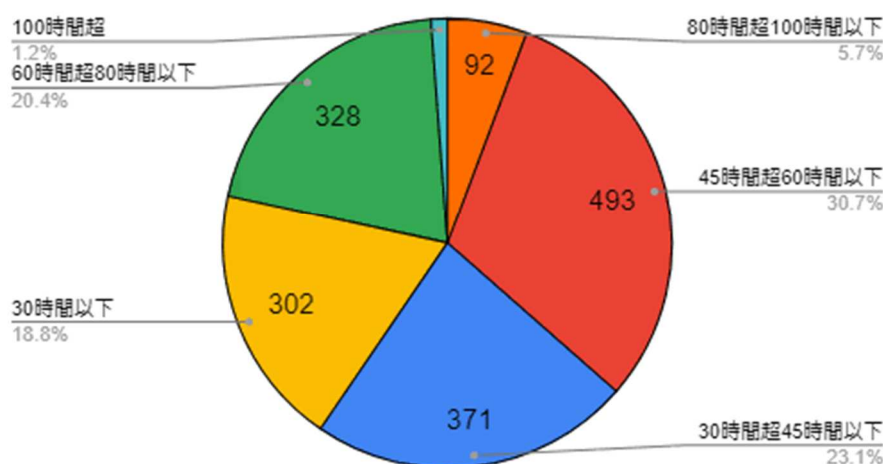
(6) クラス担任を持っている



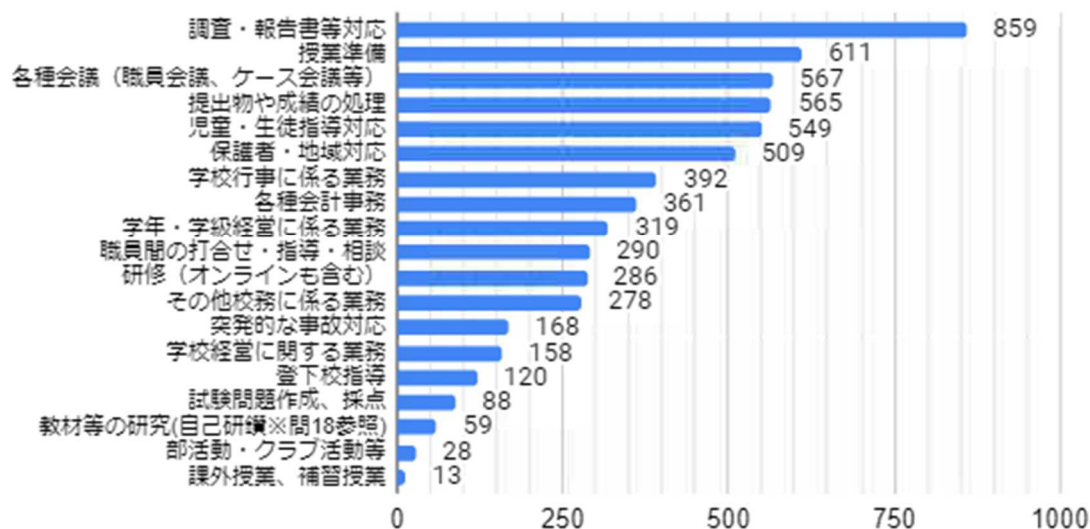
(7) 部活動の顧問をしている



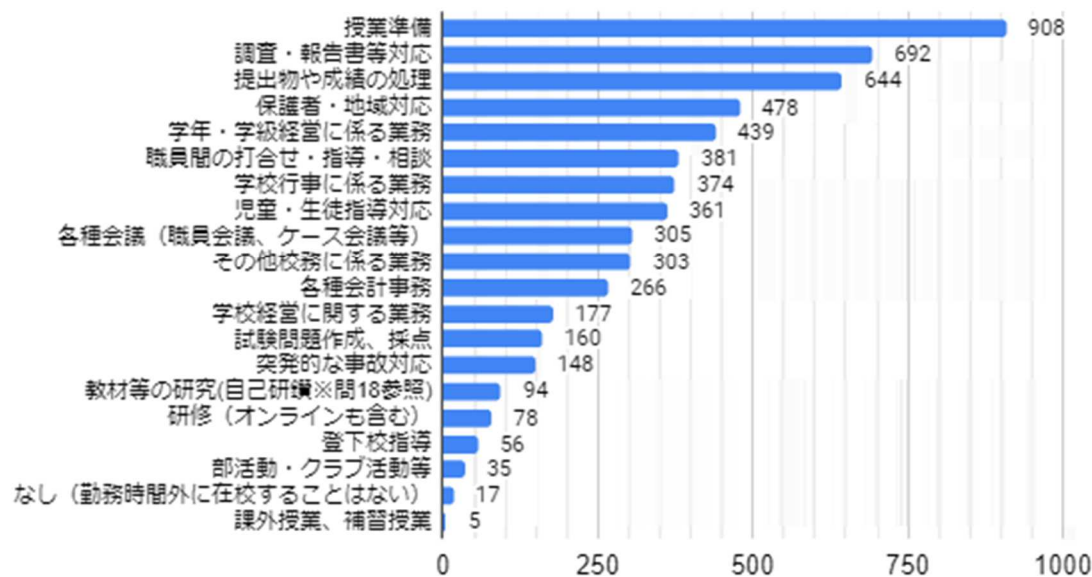
(9) 令和6年4,5,6月の時間外在校時間（月平均）は



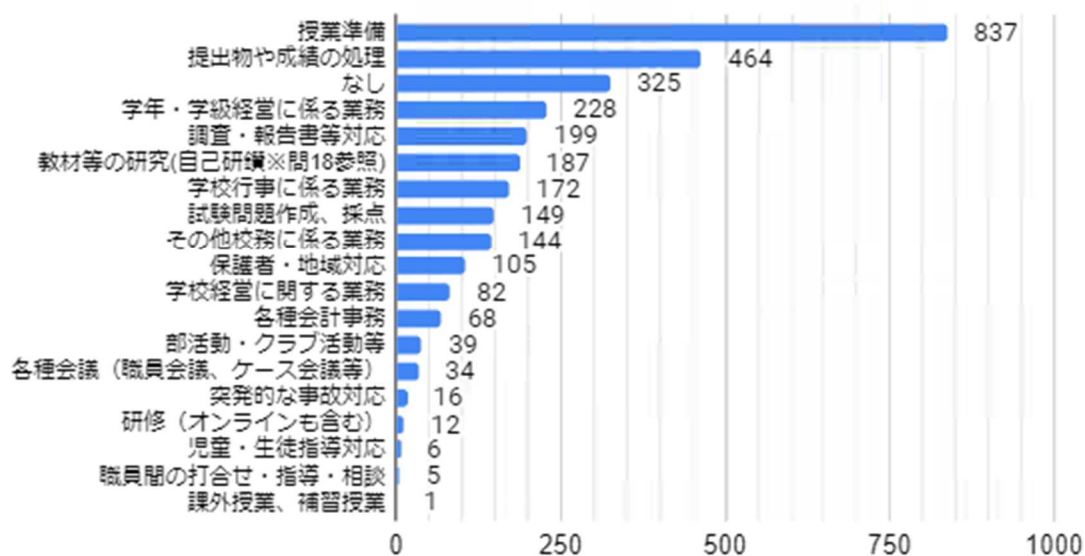
(10) 日常的に負担感・多忙感が大きい業務＜複数回答可※5つまで＞



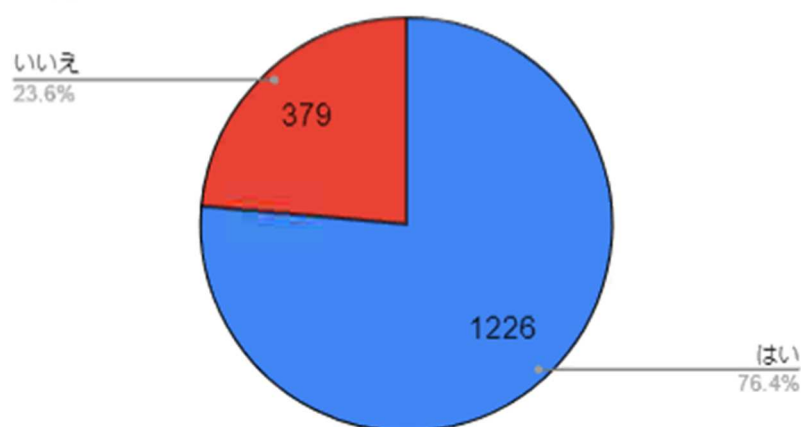
(11) 勤務時間外に在校する主な要因（業務）＜複数回答可※5つまで＞



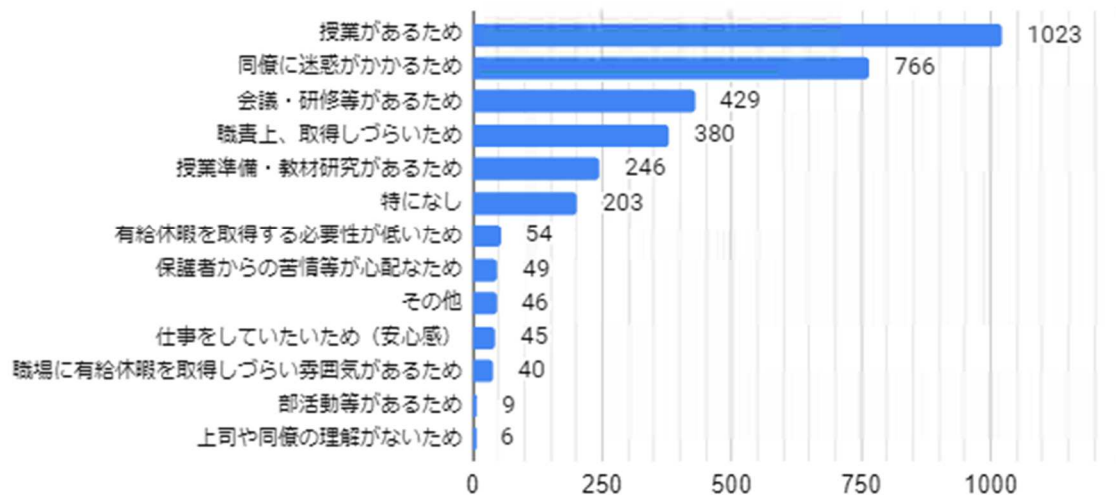
(12) 土日に行うことが多い業務<複数回答可※3つまで>



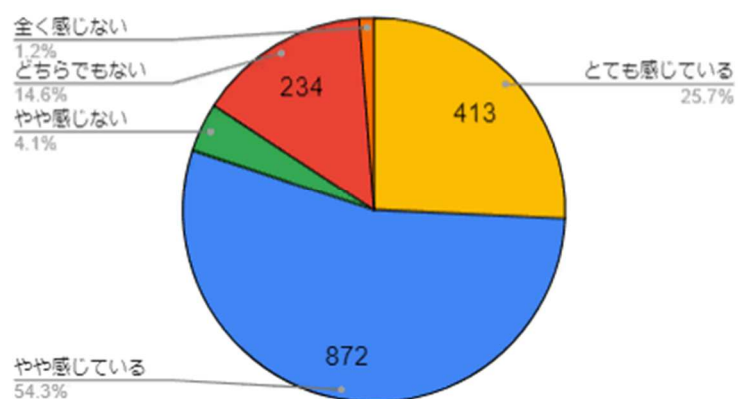
(13) 令和5年4月～令和6年3月の間に年次有給休暇を10日以上取得した



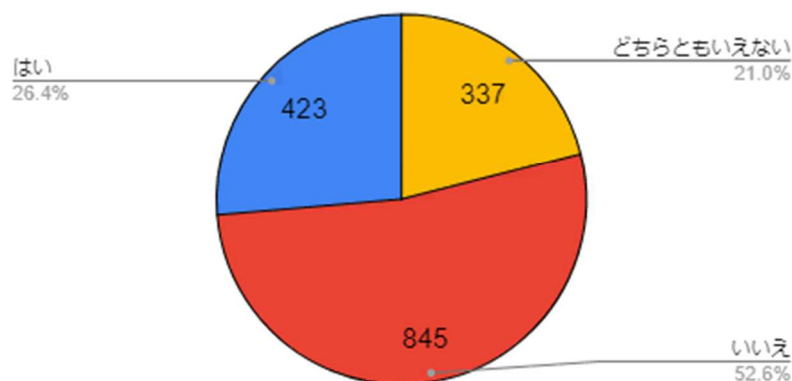
(14) 年次有給休暇を取得しない(しにくい)理由<複数回答可※3つまで>



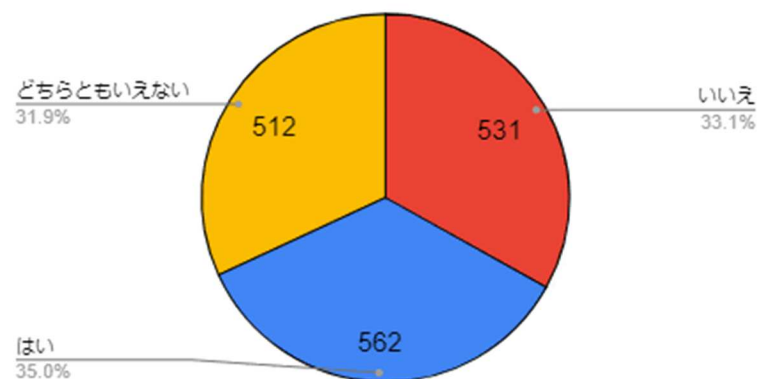
(15) 仕事にやりがいを感じているか



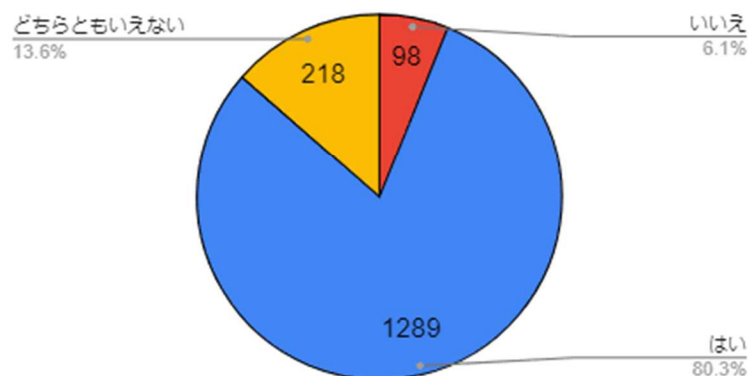
(16) 他の職員より先に退校することに抵抗を感じるか



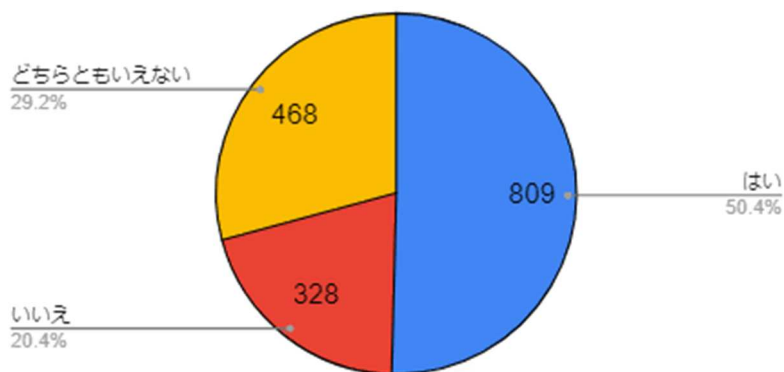
(17) 打刻システム導入により、勤務時間を意識して働くことができるか



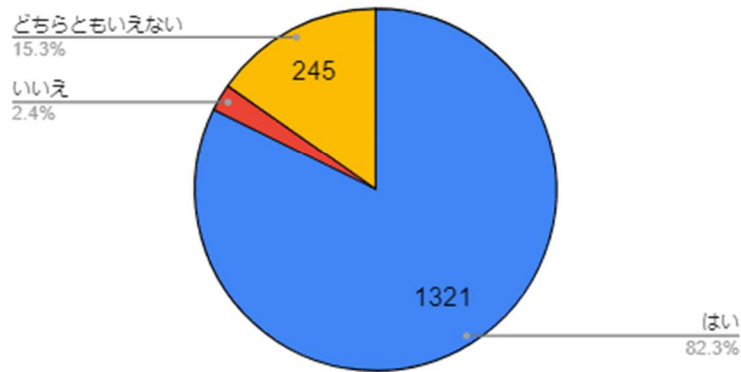
(18) 自己研鑽※の時間について勤務時間から除くことを理解しているか



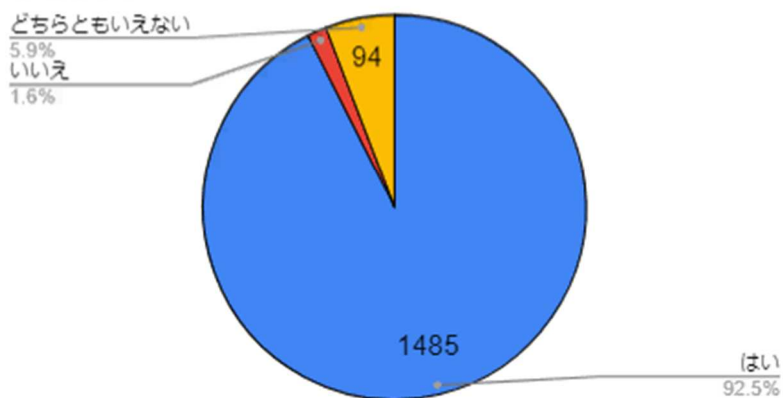
(19) C4thの機能を活用し、会議資料を事前提供しているか



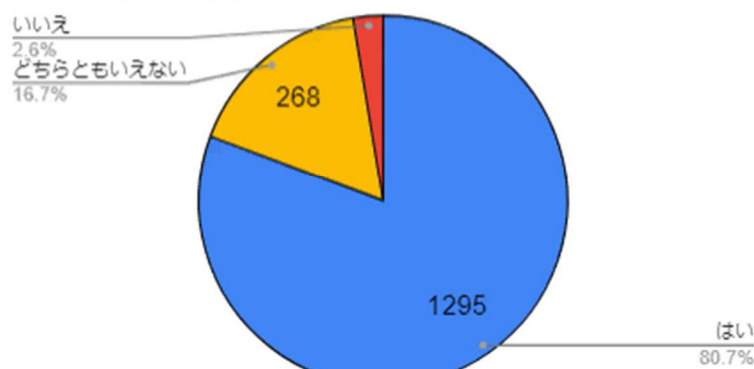
(20) 作成した教材や資料、文書データなどが職員間で共有できるようになっているか



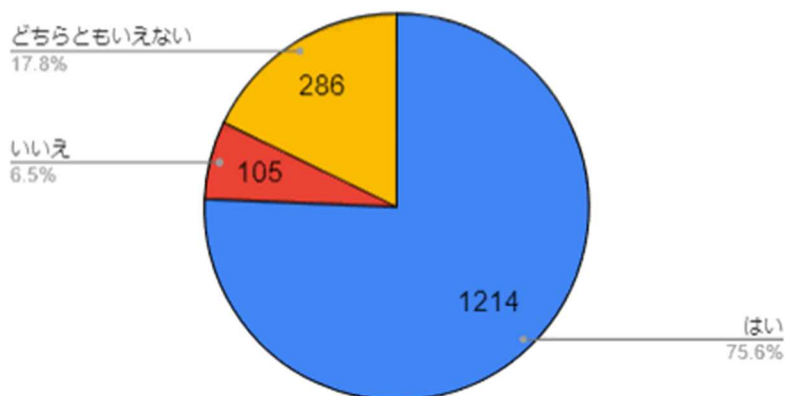
(21) 学校業務アシスト職員の拡充は、負担軽減につながると思うか



(22) LINEによる欠席遅刻連絡システムの導入は、負担軽減につながると思うか

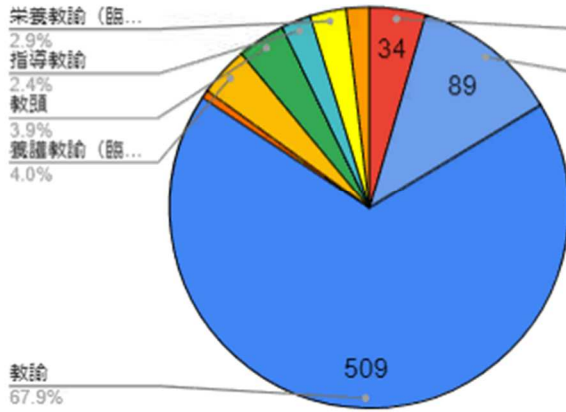


(23) 夏季の学校閉庁日5日間への試行拡大は、ワークライフバランスを図ることにつながると思うか

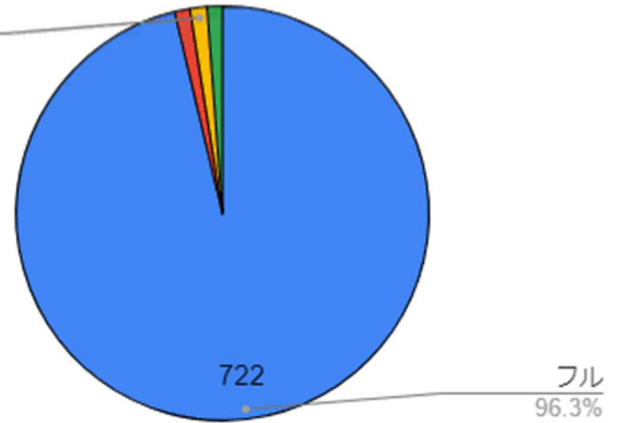


③中学校 回答数 750 人(アンケート対象者 1,222 人 回答率 61%)

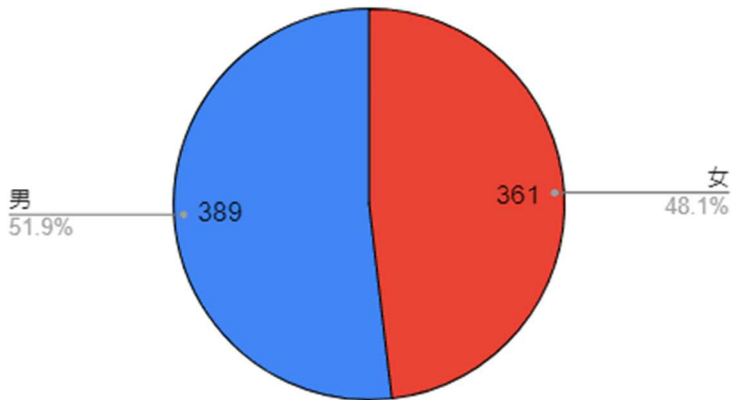
(2) 職名を選んでください。



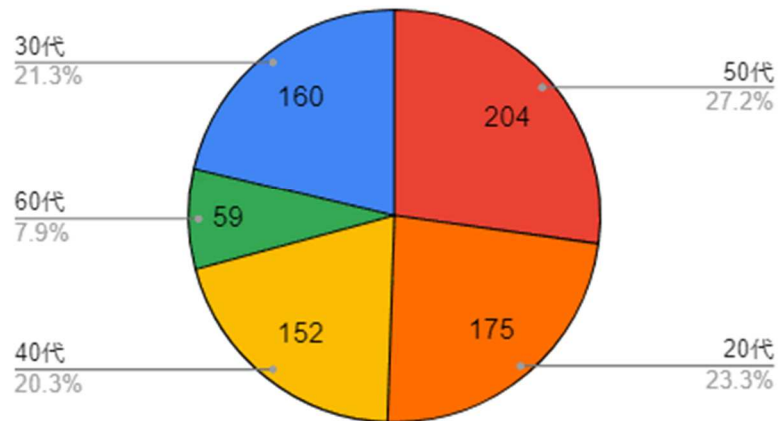
(3) 1週間の勤務時間



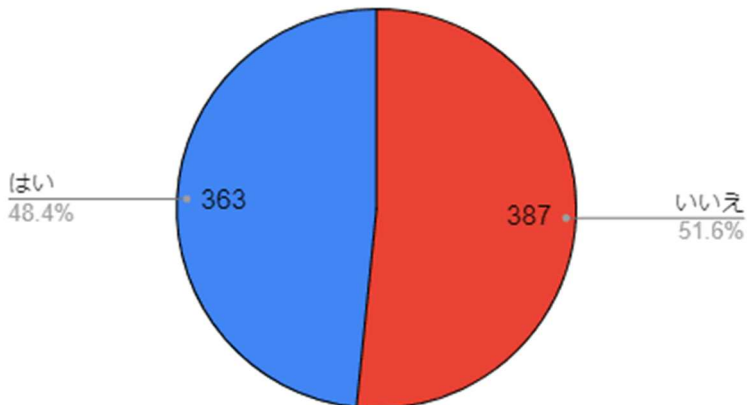
(4) 性別を選んでください。



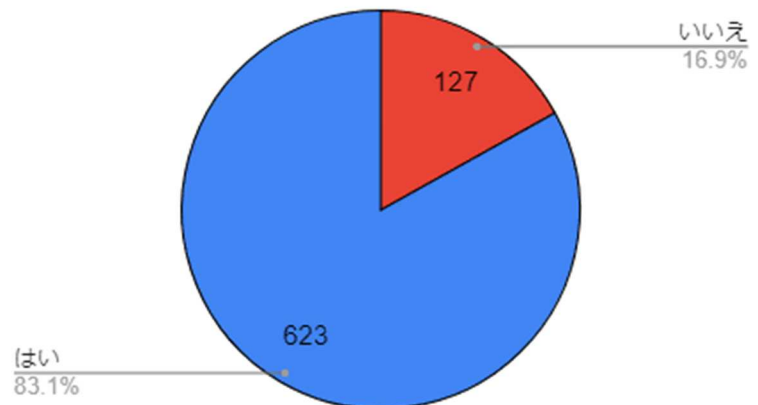
(5) 年齢を選んでください。



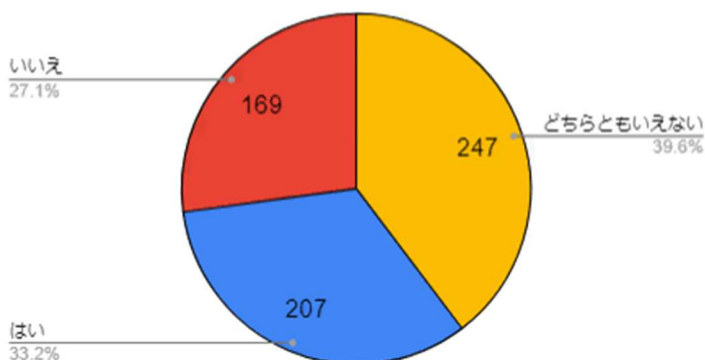
(6) クラス担任を持っている



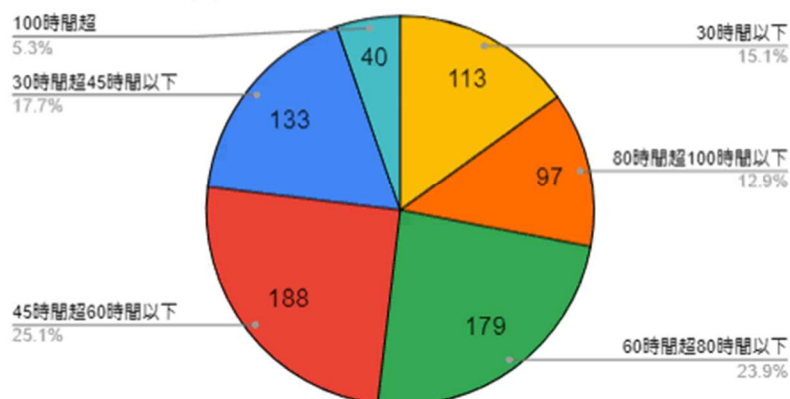
(7) 部活動の顧問をしている



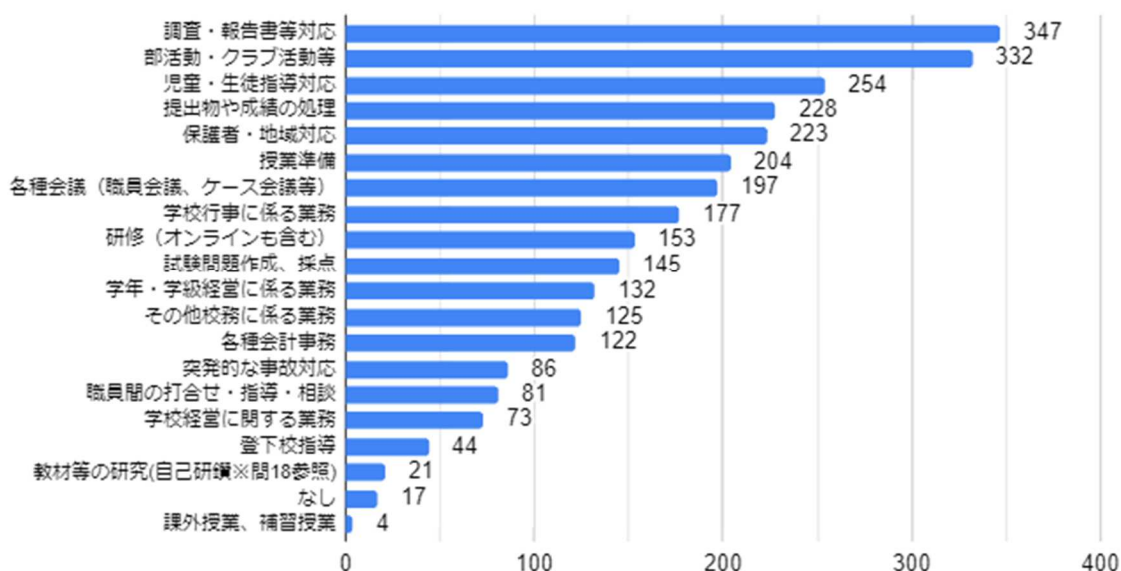
(8) 部活動ガイドラインの改訂により、令和6年4月～6月の部活動の負担軽減につながった



(9) 令和6年4,5,6月の時間外在校時間（月平均）は



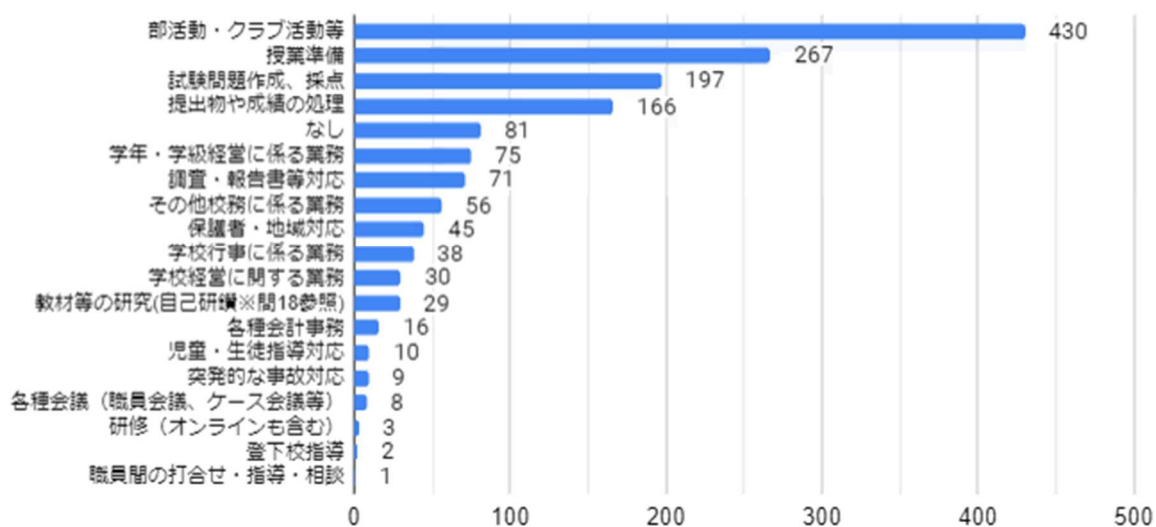
(10) 日常的に負担感・多忙感が大きい業務<複数回答可※5つまで>



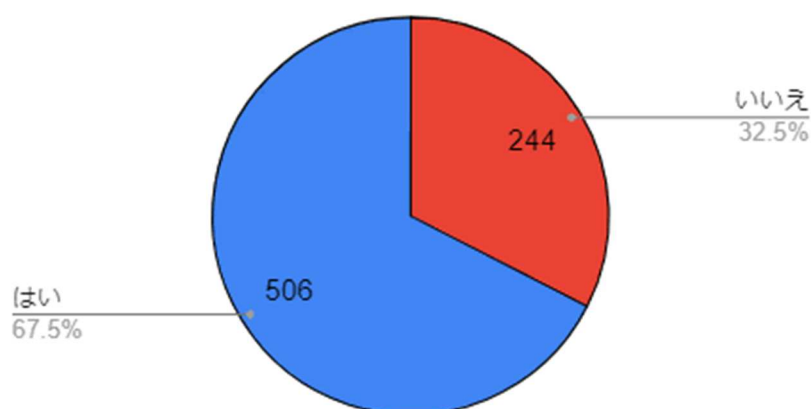
(11) 勤務時間外に在校する主な要因（業務）<複数回答可※5つまで>



(12) 土日に行うことが多い業務<複数回答可※3つまで>



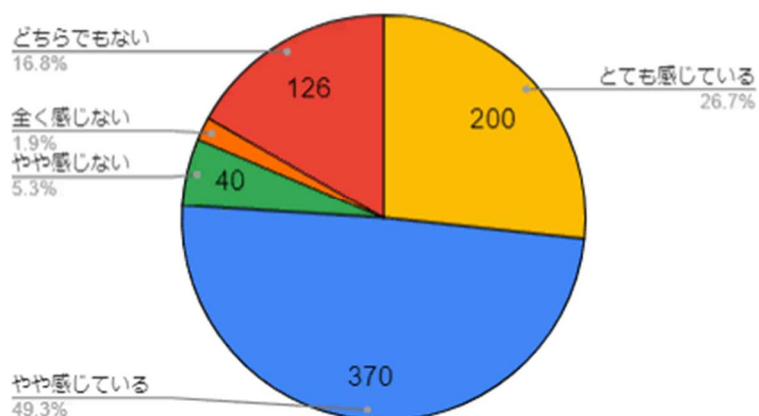
(13) 令和5年4月～令和6年3月の間に年次有給休暇を10日以上取得した



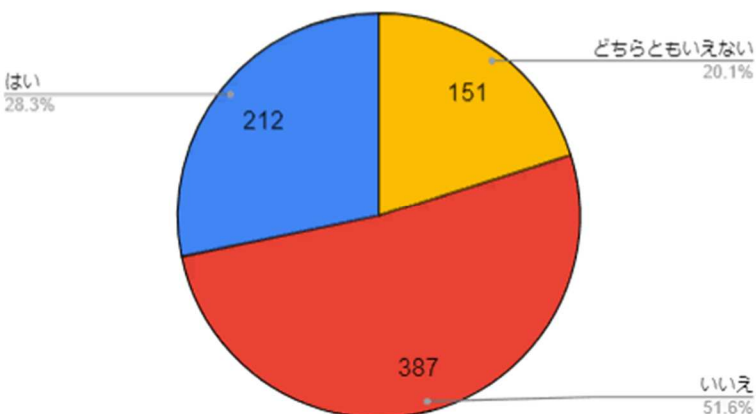
(14) 年次有給休暇を取得しない(しにくい)理由<複数回答可※3つまで>



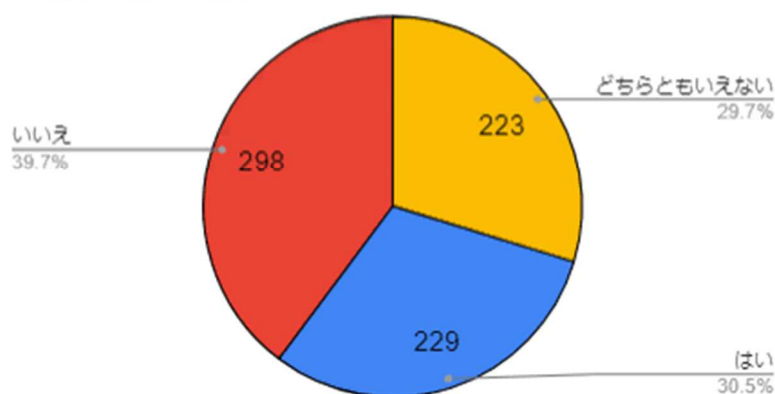
(15) 仕事にやりがいを感じているか



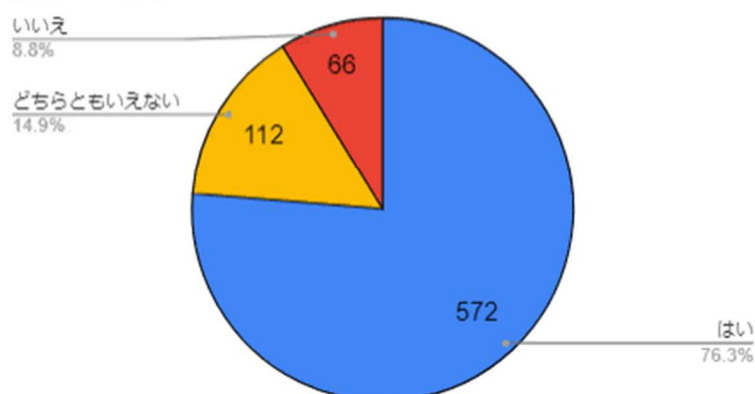
(16) 他の職員より先に退校することに抵抗を感じるか



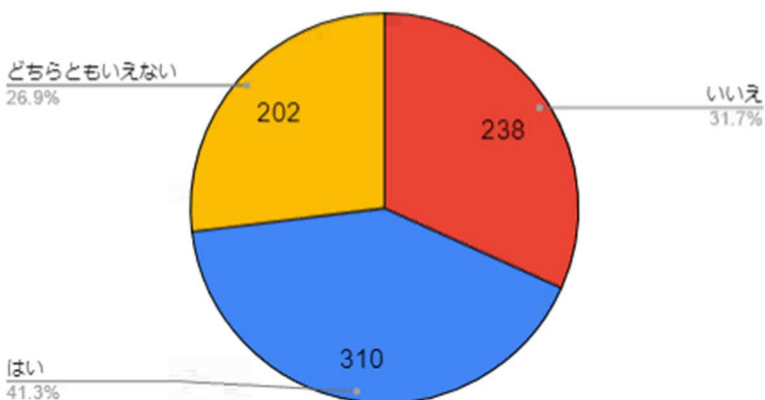
(17) 打刻システム導入により、勤務時間を意識して働くことができるか



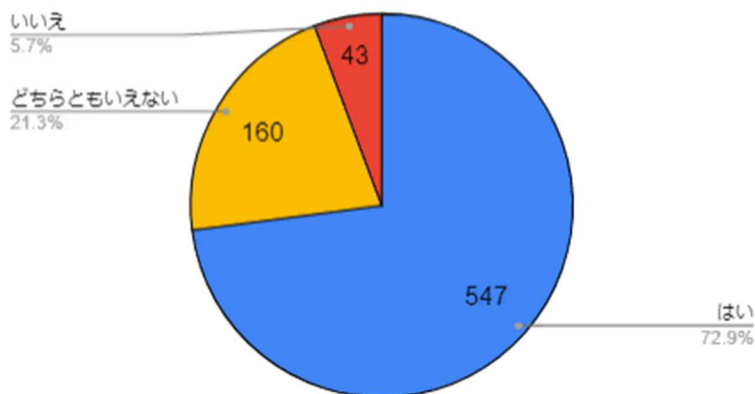
(18) 自己研鑽※の時間について勤務時間から除くことを理解しているか



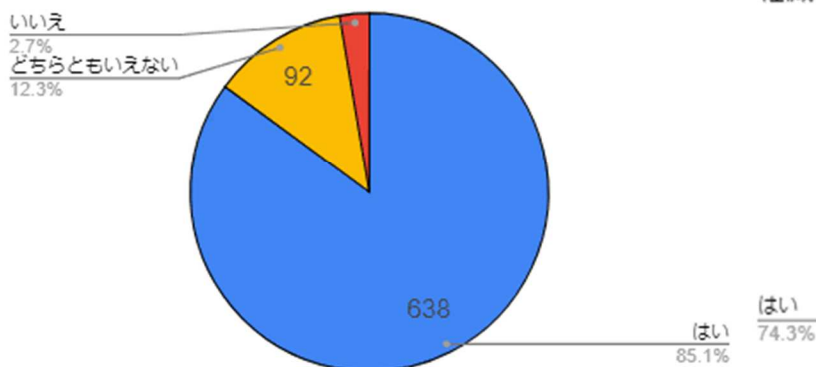
(19) C4thの機能を活用し、会議資料を事前提供しているか



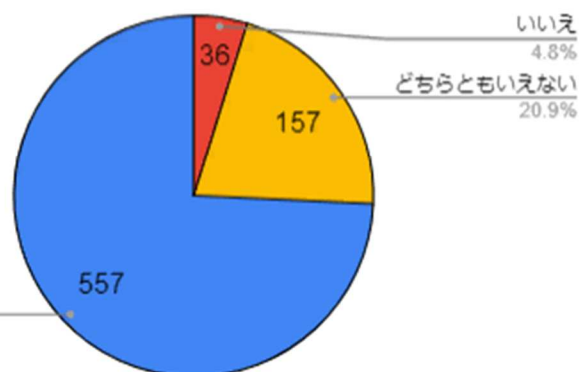
(20) 作成した教材や資料、文書データなどが職員間で共有できるようになっているか



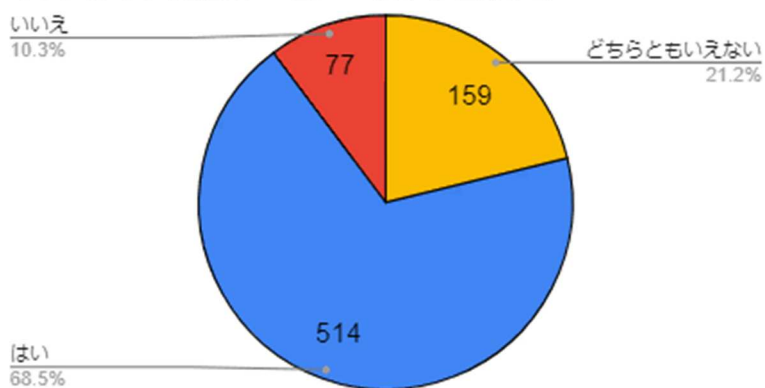
(2 1) 学校業務アシスト職員の拡充は、負担軽減につながると思うか



(2 2) LINEによる欠席遅刻連絡システムの導入は、負担軽減につながると思うか

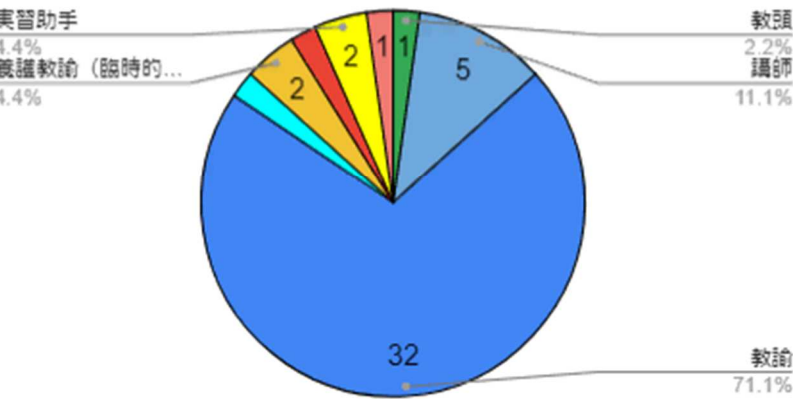


(2 3) 夏季の学校閉庁日5日間への試行拡大は、ワークライフバランスを図ることにつながると思うか

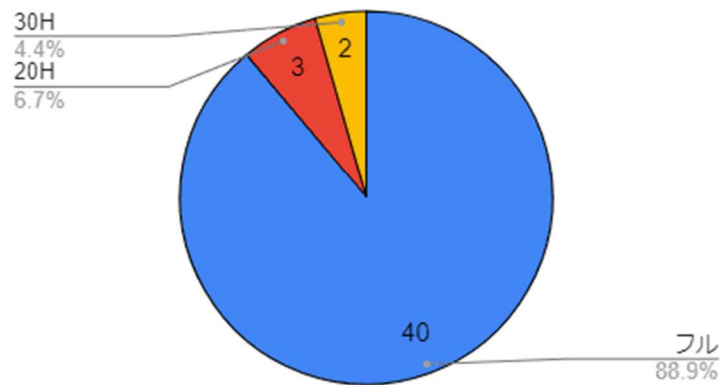


③高等学校 回答数 45 人(アンケート対象者 45 人 回答率 100%)

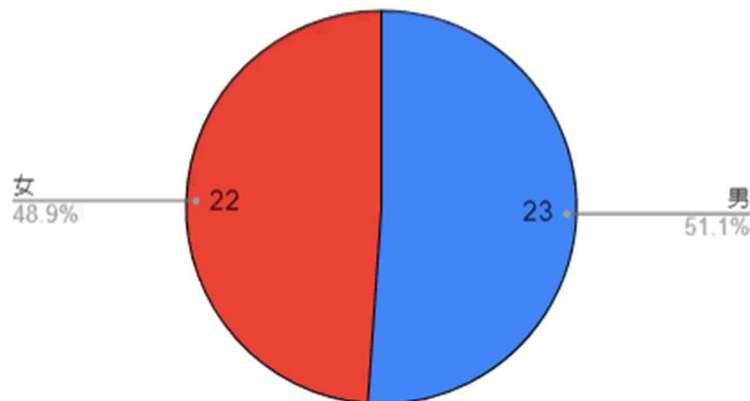
(2) 職名を選んでください。



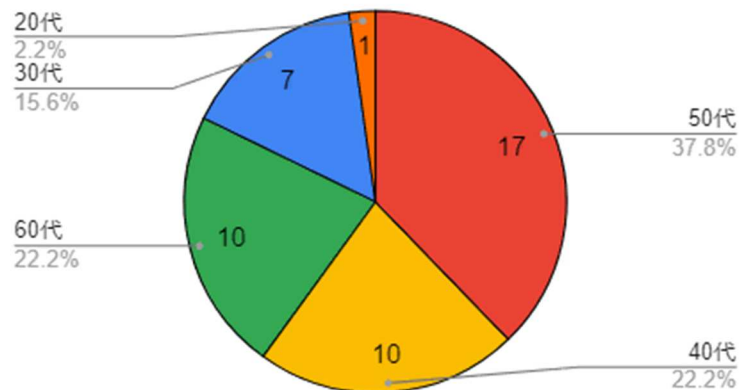
(3) 1週間の勤務時間



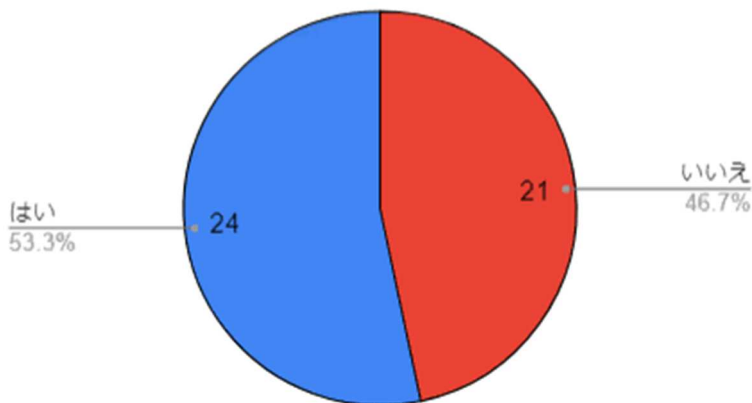
(4) 性別を選んでください。



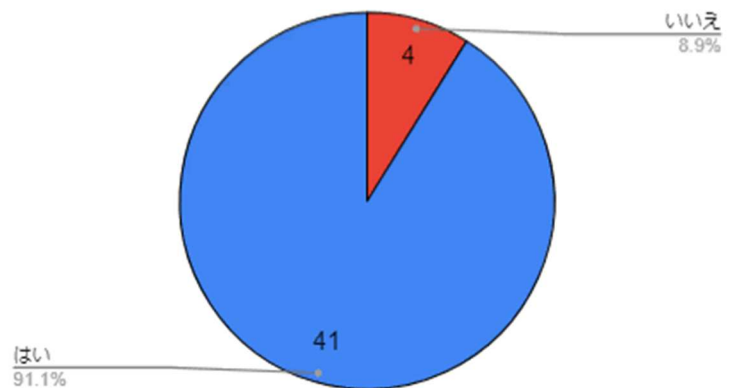
(5) 年齢を選んでください。



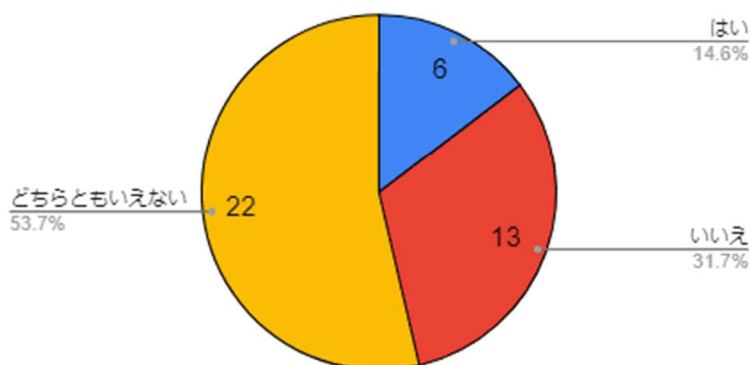
(6) クラス担任を持っている



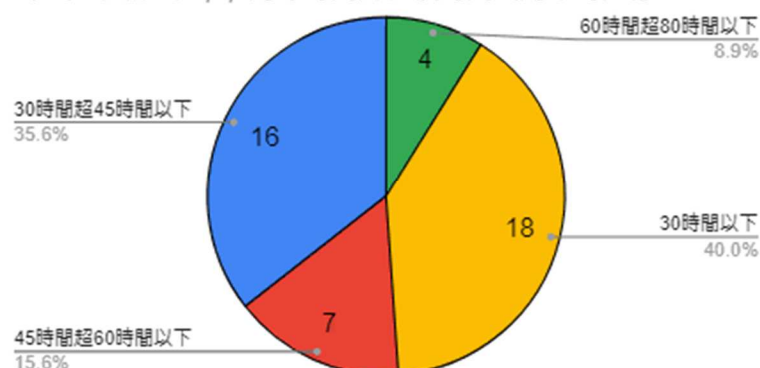
(7) 部活動の顧問をしている



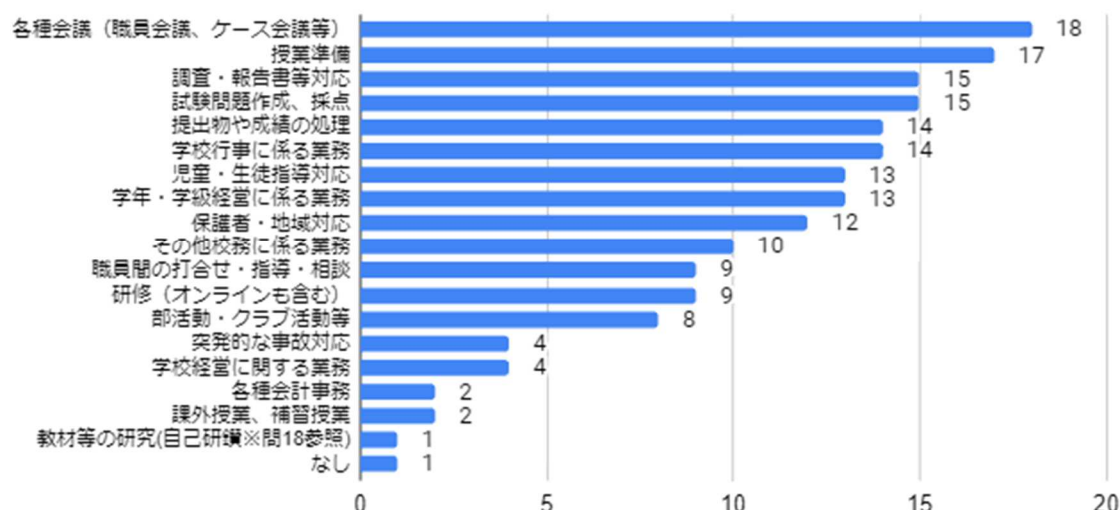
(8) 部活動ガイドラインの改訂により、令和6年4月～6月の部活動の負担軽減につながった



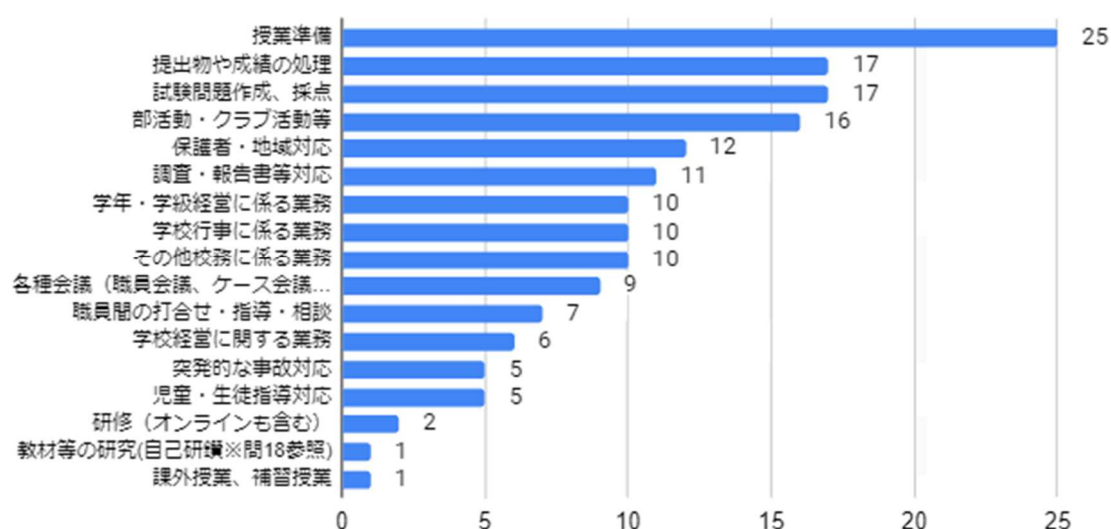
(9) 令和6年4,5,6月の時間外在校時間(月平均)は



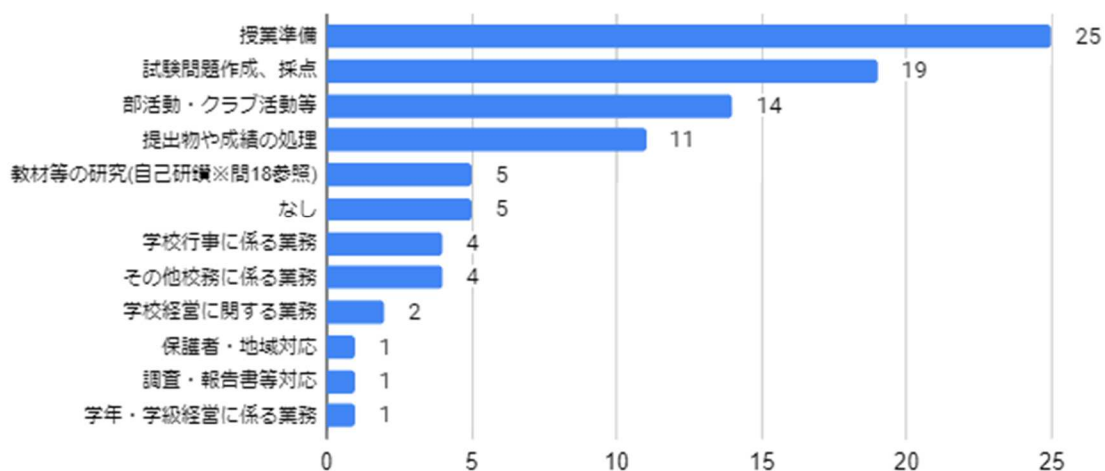
(10) 日常的に負担感・多忙感が大きい業務<複数回答可※5つまで>



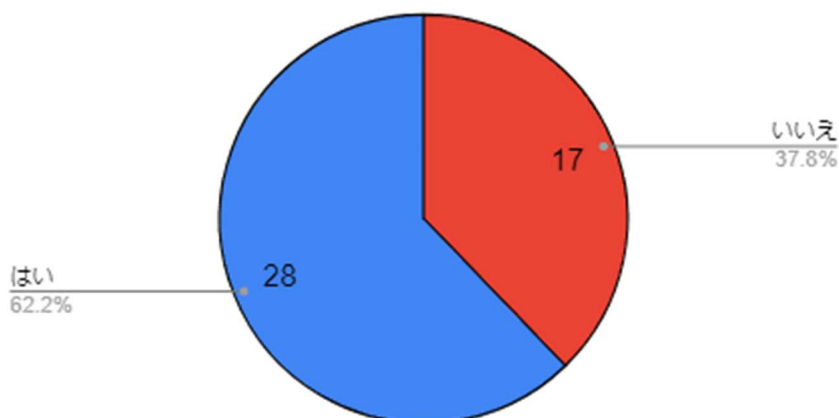
(11) 勤務時間外に在籍する主な要因(業務)<複数回答可※5つまで>



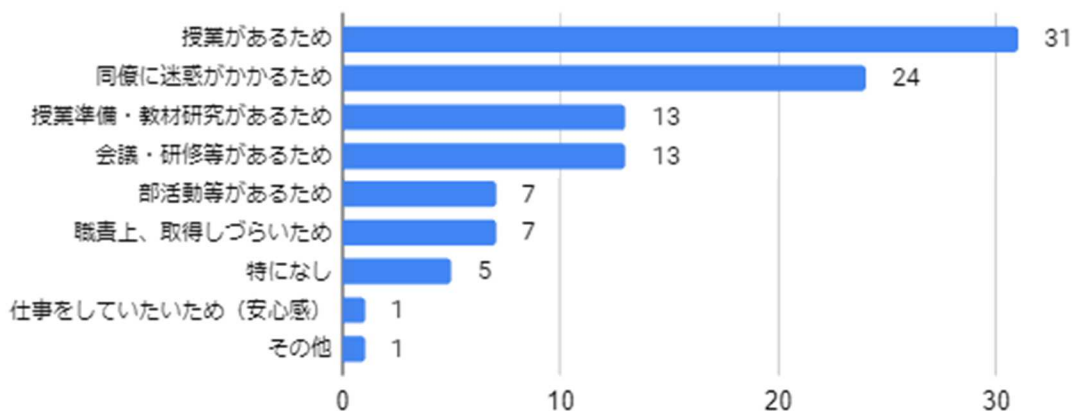
(12) 土日に行うことが多い業務<複数回答可※3つまで>



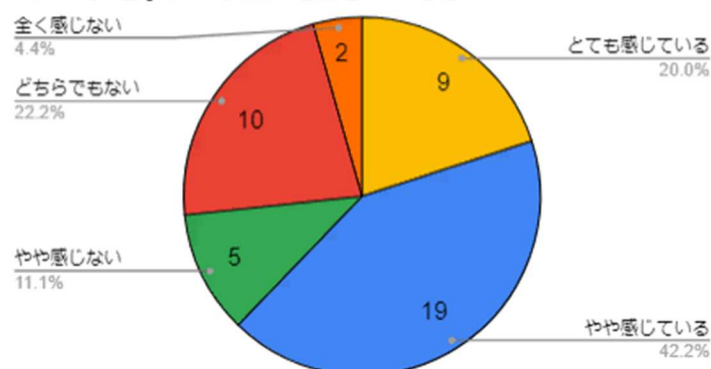
(13) 令和5年4月～令和6年3月の間に年次有給休暇を10日以上取得した



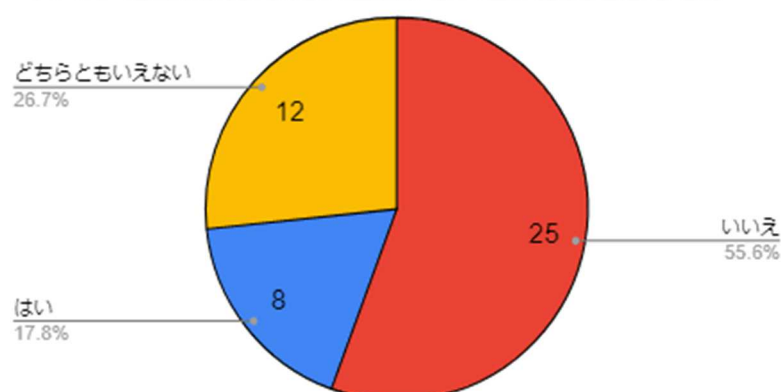
(14) 年次有給休暇を取得しない(しにくい)理由<複数回答可※3つまで>



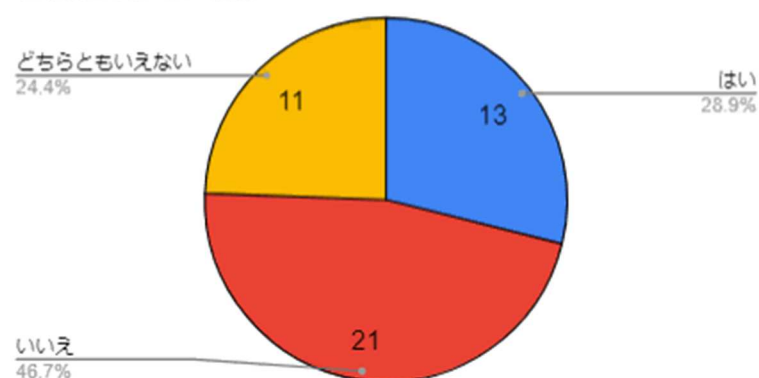
(15) 仕事にやりがいを感じているか



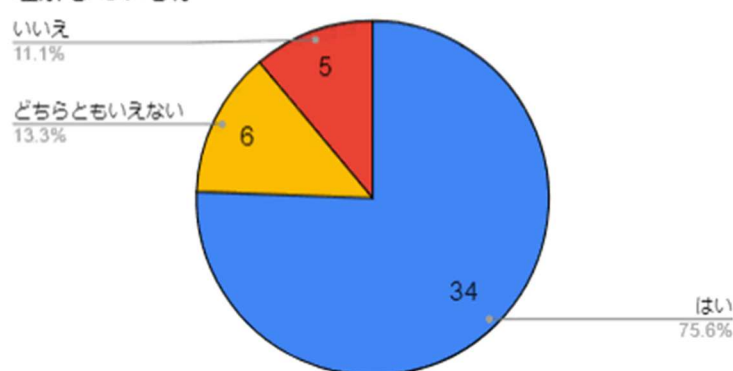
(16) 他の職員より先に退校することに抵抗を感じるか



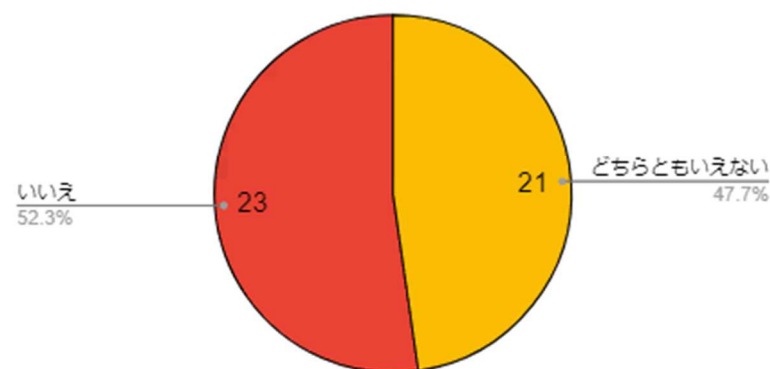
(17) 打刻システム導入により、勤務時間を意識して働くことができるか



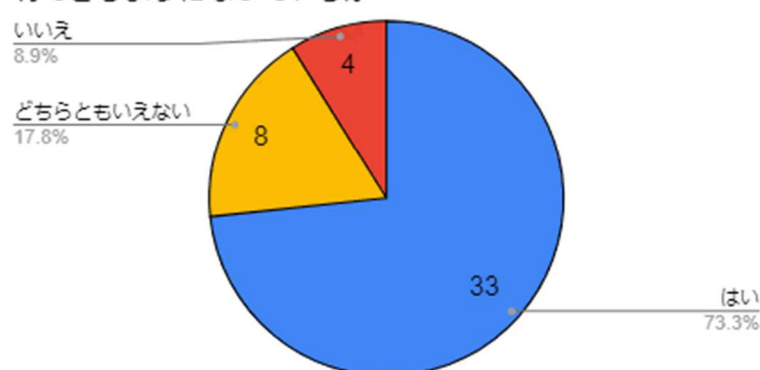
(18) 自己研鑽※の時間について勤務時間から除くことを理解しているか



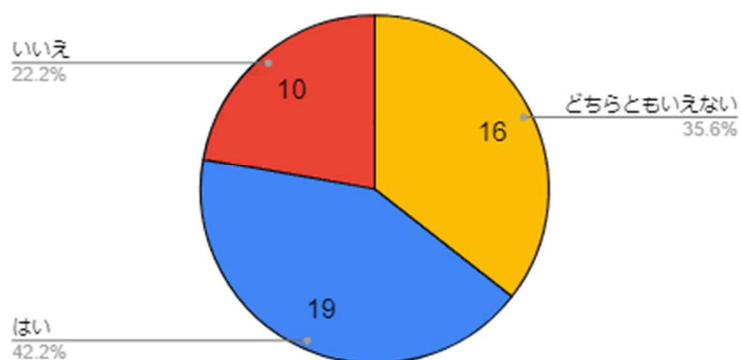
(19) C4thの機能を活用し、会議資料を事前提供しているか



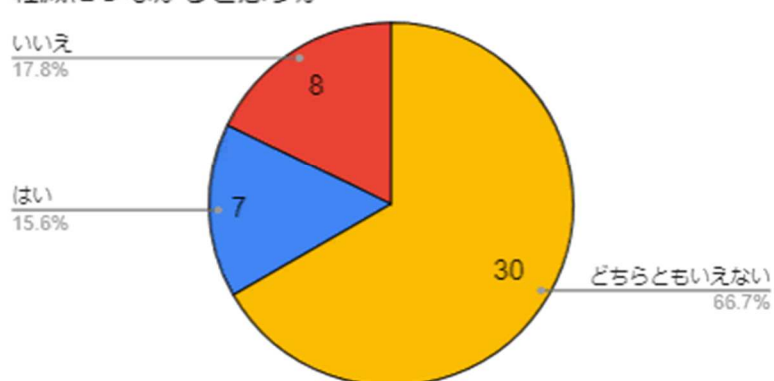
(20) 作成した教材や資料、文書データなどが職員間で共有できるようになっているか



(2 1) 学校業務アシスト職員の拡充は、負担軽減につながると思うか



(2 2) LINEによる欠席遅刻連絡システムの導入は、負担軽減につながると思うか



(2 3) 夏季の学校閉庁日5日間への試行拡大は、ワークライフバランスを図ることにつながると思うか

